

(第3種郵便物認可)

腹腔鏡手術の切開1カ所に

胆のう摘出などの腹腔鏡手術で、カメラや鉗子を挿入するための腹部の切開を4カ所程度から1カ所にして、手術後の傷をより目立たなくする「単孔式」が急速に普及している。若い女性患者を中心に希望者も増えているという。ただ、従来の方法より高度な技術が必要で、安易に実施しないよう関連学会は警鐘を鳴らしている。
(金井恒幸)

神戸・佐野病院など



単孔式手術について説明する小高雅人センター長。神戸市垂水区清水が丘2

「単孔式」急速に普及

胆のうは肝臓の下にある袋状の臓器。肝臓で作られた胆汁を濃縮してためておき、食事のときに十二指腸に送り出し、主に脂肪分の消化を助ける働きがある。摘出手術の対象は痛みや炎症を伴う胆石症、胆のう腺筋症、ポリープなど。重症など

■従来は4カ所

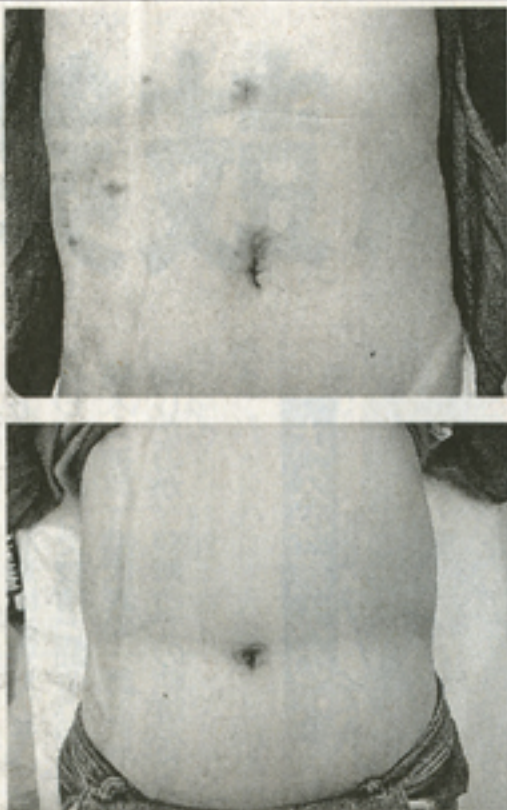
神戸市垂水区清水が丘の佐野病院では、大腸がんと胆のうの腹腔鏡手術を700例以上経験した小高雅人・消化器センタ

の鉗子も挿入して従来の方法と同じように手術する。へその部分を切開するのは、手術の傷が見えにくくなるなどの理由からだ。
切開した部分に取り付け、複数のトロッカーを固定する「ポート」と呼ばれる機器が開発され、普及に弾みがついた。たと指摘する。

日本内視鏡外科学会も「高度な技術が必要。腹腔鏡手術で一定の修練を積み、独特の手術操作に習熟した上で行うことが望ましい」などとする理事長声明を出している。

傷あとが目立たず 実施には高度な技術必要

④4カ所を切開した従来の手術あとと⑤へその部分だけを切開した単孔式の手術あと (いずれも佐野病院提供)



1長(41)が昨年10月から、胆のう摘出手術に単孔式を導入。これまで46例に実施し、兵庫県内で屈指の手術数という。同病院の場合、従来は腹部の4カ所を0・5、1・5センチほど切開し、「トロッカー」という筒状の器具を挿入。その中にカメラや電気メス、鉗子を入れて胆のうを切除していた。

■独自の方法

単孔式手術は、2007年に米国の医師らが報告した。小高センター長が切開するのはへその部分1カ所、2センチほどの穴に二つのトロッカーを入れ、それとは別に二つ

■大腸がんなど

同病院では、胆のう摘出以外に卵巣腫瘍と大腸がんなど単孔式を実施。今後は虫垂炎でも実施したいという。国内では単孔

からだ